

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名		田沢幼稚園 一般管理費							
担当係名		田沢幼稚園	課	係	作成者	伊藤州子			
総合計画での 位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化の町				総合計画の ページ			
	基本計画	幼児教育の充実と教育環境の整備							
	主要施策	就学前幼児に対する適切な指導体制・多様な幼児教育の形成支援				92			
予算費目		一般	会計	10 款	教育費	4 項	幼稚園費	1 目	幼稚園費
事業期間		平成	年度	～	平成	年度	新規／継続の区分		
性質区分		☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理							
根拠法令等		教育基本法・学校教育法・地方公務員法・仙北市条例幼稚園管理規則							
事務区分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
運営方法		☒ 直営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	満3歳に達した幼児から満6歳の幼児まで
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	人間形成の基礎を培うため、幼児教育の充実を図ると共に、幼児の健康・安全に留意しながら、幼児の生きる力を育てる。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	幼児教育、事務、施設管理業務

【事務事業の推移】

(単位：千円)

項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	保育日数	日	220	226
	成果指標	(光熱水費＋燃料費)÷園児数	円	67	38
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			3,750	3,556
	財源内訳	国 庫 支 出 金			
		県 支 出 金			
		地 方 債			
		そ の 他			
		一 般 財 源		3,750	3,556
	人 件 費 (B)		—	23,559	24,213
		職 員 数	—	3.0	3.0
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071
		(A) + (B) 投下コスト	—	27,309	27,769
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	124,132	122,872
			—		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	856	885

【事務事業の今までの成果】

少人数のメリットを最大限に生かし、一人一人に寄り添った生活の中で、幼児教育の充実を図っている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	幼児教育の重要性がますます叫ばれている中にありながら、公立幼稚園の存続が厳しい状況におかれている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	田沢幼稚園の良さを十分認識し、幼児教育の質の低下を招くことがないよう、地域で支えていこうとする気運がある。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	効率性と妥当性が低くBとなったが、田沢幼稚園では幼児教育の理想の教育が行われている。田沢地域にあって田沢幼稚園は欠くことのできない文教育施設であり、小中学校の変わり地域の拠り所の要素を有している。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

職員配置において改善の余地がある。
園児募集等の方法について検討する。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	幼児教育の充実のために引き続き必要な事業と考えるが、幼稚園のメリット活かした特色ある運営に努めていただきたい。

一次評価診断図

